

# 三条市「生活科」活動報告

三条市立須頃小学校 中瀧 志保子

## 1 研究主題

主体的に活動し、気付きの質を深める子どもの育成

～授業力向上のための実技研修を通して～

## 2 研究主題設定の意図

学習指導要領解説「生活編」には、生活の改善の基本方針の第2として「気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。また、科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さやおもしろさを実感する活動を取り入れる。」と示されている。気付きの質を高めるためには、子どもたちの自発的・主体的な対象とのかかわりが必要である。気付きの質を高め深めるためには、子どもたちにとって、魅力ある授業でなければならない。そのためには、質の高い教材研究は不可欠である。本年度は、一人一人の教材研究の助けとなるような実技研修を実施することとした。

## 3 事業の実際

○5月13日（金） 本年度の計画作成

○6月22日（水） 第1回研修会

「地域素材としての植物の生かし方」

講師 三市南蒲地域理科教育センター 専任所員 館岡 信男 様  
会場 南小学校

・南小学校校庭や学校周辺で自生している植物の名前や見分け方を学んだ。特に、「生活」の学習に生かすことが効果的な植物については、具体的な活動のあり方について教えていただいた。また、植物を探しながら、会員相互の情報交換をすることができた。

○9月28日（木） 第2回研修会

「伝達講習会」

・「平成23年度 新潟県教育課程研究集会」の伝達講習を実施した。  
資料をもとに、具体的に当日の指導内容等を伝達した。

「ゴムを使った遊び道具の作成と活用法」

三市南蒲地域理科教育センター 専任所員 土田 宗明 様

・ゴムを使ったおもちゃを作り、児童が活動でどのような気付きをもつか予想しながらおもちゃを使った活動を行った。自動車では、ゴムの種類や本数と走る速さに着目して工夫することで、いろいろなおもちゃを作ることができることを学んだ。

## 4 まとめ

2回の研修会で学んだことを、すぐに授業に生かすことができたという声が、多数届いている。また、第2回の研修を通して、理科と生活の違いが明確になり授業のねらいがよりはっきりしたものになったという感想も寄せられている。実技研修が、授業の質の向上につながっている。